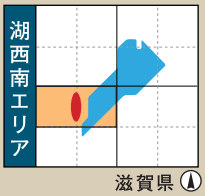
天然記念物
国指定

比叡山鳥類繁殖地（ひえいざんちょうるいはんしょくち）

大津市坂本本町　昭和5年10月3日指定



比叡山は、天台仏教の聖域として、1200年もの長い間、たくまずして、自然環境が守られてきました。また、立地条件から日本でも有数の小禽類の繁殖地となっています。比叡山は、延暦寺境内として史跡に、そして世界遺産にも登録されている地域であり、日本を代表する文化財として保全していく必要があります。

比叡山の立地と鳥類



比叡山は、標高が843.3mの中高山ですが、標高約500mを境として、暖帯林と温帯林の二つの林相に別れ、山頂付近にはスギ、モミなどの巨木が生育し、一部にはブナの自然林も見ることができます。この自然条件は、鳥類の食餌である植物、昆虫類が豊富に発生する条件とも合致していることから、鳥が繁殖する好条件となっています。

また、日本列島のちょうど中央に位置することから、北方系、南方系の渡り鳥が翼を休める経路ともなっており、いずれの系統の鳥も見ることができます。

比叡山は天台宗の聖域であり、宗教上の理由から「殺生禁断の地」として、禁猟区として守られてきたことも、鳥類が繁殖するための好条件となっています。



木々の間に建つ堂

比叡山で見られる鳥類

鳥類は、生息場所の状態からスズメのように年中同一地方に住む「留鳥」、ウグイス、モズのように同一地方に住みますが、餌を求めて移動する「漂鳥」、気候の変化により北や南の地方から飛来する「候鳥」に分けられます。

比叡山には留鳥または漂鳥が約32種、候鳥のうち夏鳥が約26種、冬鳥が約18種、ここを通過する旅鳥が約11種で、年間約80種もの鳥を観察することができます。



木々の間に建つ堂

［環境の保全］

このように自然環境や、人文環境に優れた比叡山ですが、近年のドライブウェイの開通、観光客の増加、森林の伐採などは、鳥類の生息に少なからぬ影響を与えています。壊れかけている生態系を復元することはとても困難なことですが、この素晴らしい文化財を未来に伝えるために、様々な努力と試みを重ねて行く必要があります。

生息する主な鳥たち

■森林地帯
オオルリ・コサメビタキ・ヤブサメなど

■巨木地帯
カラ類・キツツキ類など

■渡り鳥
コマドリ・コルリ・ムシクイ類など

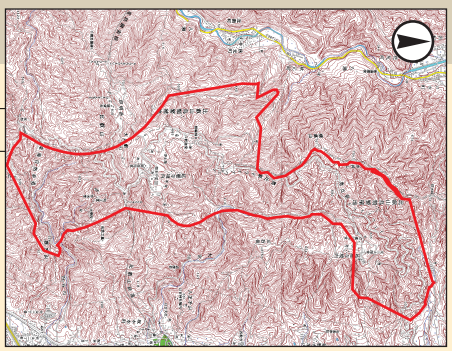
減少の著しい鳥
クロツグミ　キビタキ　サンコウチョウ　ブッポウソウなど

関連する文化財

県天然記念物三島池のカモおよびその生息地（山東町）	学習シートNo.128
伊豆沼・内沼の鳥類およびその生息地（宮城県築館町ほか）	冬期にオオハクチョウ、マガン、ヒシクイなど数十種の水鳥が飛来する地域
天売島海鳥繁殖地（北海道羽幌町）	日本海の孤島。ウミガラス、ケイマフリ、ウトウなど春から夏にかけて多数の鳥が飛来する
小笠原諸島海鳥繁殖地（東京都小笠原村）	亜熱帯にある海鳥の繁殖地として著名。カツオドリ、ミズナギドリなど11種余りの海鳥が知られている

もっと深く知りたい

比叡山自然教室	☎077-578-0968	大津市坂本本町4220　延暦寺西塔
大津市教育委員会	☎077-528-2638	大津市御陵町3-1



比叡山鳥類繁殖地へのアクセス　JR湖西線　比叡山坂本駅下車　比叡山ケーブル利用

【参考文献】〔日本の天然記念物〕講談社　〔大津の文化財〕大津市教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月